

令和7年度 第1回学校関係者評価委員会記録

日時：2025年6月30日（月） 10:00～11:30

場所：加世田高校 会議室

出席者：外部評価委員5人，本校委員7人（校長，教頭，事務長，4部主任）

会順等：1 開会

2 校長挨拶

3 委員紹介

4 学校関係者評価委員会設置要綱

5 本校の概況について

学校経営方針，ランドデザイン，いじめ防止基本方針等について説明

4部の年間計画・方針等について各主任より説明

6 令和6年度学校評価について

7 質疑応答

8 閉会

〔委員からの質問・意見等の概要〕（○は評価委員から，●は本校委員から）

○今後も中・高連携を図っていききたい。不登校生徒の状況，いじめの状況及びその対応，スマホの利用の仕方について

●不登校傾向の生徒に対しては，全職員共通認識のもの，SC等との連携も図り学校に慣れることを優先しながら生徒の状況に応じて学習支援を行うなどしている。別室登校生については学びの保証の観点も踏まえつつ，時間割を作成し，全職員で支援する体制である。

●いじめの早期発見に努め，事案ごとに「いじめ防止基本方針」のもと必要な対応をとっている。

SNSに係る課題は高校でもあるが，未然防止のための講演会を実施している。また，教育活動全体を通して折に触れて生徒へSNS利用についての啓発を行っている。現在のところ重大事案はないが常にアンテナを高くしている。

●スマホは許可制としておりほぼ全員が申請している。1人1台タブレットを持っていることから，校内でのスマホに係る事案は少なくなってきている感じがする。一方，タブレットでゲームをしたり，動画を見たりという事案が散見される。

○募集定員確保については，親世代，祖父母世代，中学校教員への啓発，あるいは早い段階での啓発も必要ではないか。昔の感覚で，学校で何位以内でないと加世田には入れないなどのイメージを持っている方もいる。また，小中高と学校文化が異なることを踏まえ広報のあり方を考えること重要である。

●保護者への啓発の方法は今後検討していききたい。南さつま市が中学校との連携で学力向上に係る取組をしているが，自主的な交流に発展してほしいと考える。

●南さつま市内の中学生の4割が南さつま市内の高校へ進学する状況。地元の子ども達が地元残るように情報発信をしていきたい。

○加世田高校生は素直で純粋だ。一方世界が狭い気もする。広い世界を感じる事ができるような機会が小・中学校の頃から必要だと考える。

○数年前だが，加世田高校の保健室利用者が非常に多いという話を聞いた。事実ではないと思うが，そんな話を覆す情報発信が少ないのではないか。昔ながらのイメージを払拭しなければならない。また2次時募集で鹿児島市内からの受検生が受けることができるようになれば良いが・・・交通の問題もあるが。

●鹿児島市から2次募集で受験することは制度的には可能である。